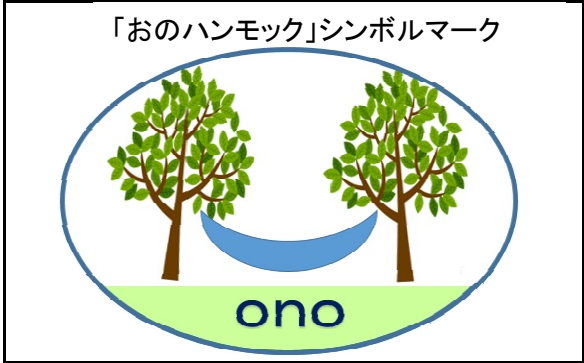


こんな活動です

「夢に向かってかがやく子」の育成 ーコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の充実を通してー

群馬県藤岡市		●活動名 小野連携型小中一貫校地域学校協働本部			●関係する学校名 藤岡市立小野小学校 藤岡市立小野中学校		
協働活動開始年度	平成 31 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成31年4月1日設置	地域学校協働本部	有		
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習		地域人材育成		
	地域未来塾		—		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	2人		—		2人		
ボランティアの数	延べ登録人数		企業・NPO等との連携		ICT機器活用		無
	431人		無		無		無
参考URL	https://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1020003						
●連絡先	藤岡市教育委員会 学校教育課			☎ (0274)50-8212			



●活動の概要・経緯
藤岡市では、平成26年度より中学校区ごとの小中学校が連携型小中一貫校として教育課程を編成・実施し、「学びのつながり」と「生徒指導の継続」をキーワードとした小中一貫教育を推進している。そして、平成31年度より一貫校区毎にコミュニティ・スクールとしての取組を始めるとともに地域学校協働本部も立ち上げ、各学校における教育活動の一層の充実を図っている。すでに行われていた保護者や地域の方による学校支援活動の一層の充実を図るため、平成29年度に地域コーディネーターを複数名配置し活動を始めた。地域コーディネーターが学校運営協議会や学校とのつなぎ役となり、「学校ボランティアのつどい」開催による緩やかなネットワークづくりや学校ボランティアのメール登録による組織づくりなどを進め、地域学校協働活動の質的及び量的な充実を目指している。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

① 小野連携型小中一貫校(小野小、小野中)として学校運営協議会を設置し、9年間を見通して学校教育目標「夢に向かってかがやく子」の育成を目指している。地域学校協働本部も一貫校として立ち上げ、学校ボランティアが小中学校を行き来することにより小中9年間の教育課程のつながりを強くしている。② 地域学校協働本部の愛称「おのハンモック」を公募により設け、シンボルマークの原画を小学生から募り、全保護者の投票により決定した最優秀作品を中学生の美術部員がデザイン化してシンボルマークを完成させた。地域学校協働活動に多くの方が親しみをもって参加できるようにしている。③ 「できる人が、できる時に、できることを」を合い言葉とし、子供の成長を第一に考えて活動している。

【実施に当たっての工夫】

- ・活動の様子を地域コーディネーターが「おのハンモックだより」にまとめ、域内全家庭(約4,500戸)に回覧・広報している。
- ・地域学校協働本部主催による学校ボランティアのつどいを開催し、様々な学校ボランティアの顔と顔をつなぎ緩やかなネットワークづくりを行うことにより、多くの学校ボランティアの参加につながった。

【関係機関・団体等との連携状況】

- ・4名の地域コーディネーターのうち2名を学校運営協議会委員に任命し、学校課題の解決に向けた取組が行えるようにしている。
- ・小野地区区長会、民生委員児童委員小野地区協議会、更生保護女性会小野支部等関係団体との連携が強化され、地域の子供を地域で育てる雰囲気が醸成されつつある。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

これまで行われてきた児童生徒の登下校の見守り、読み聞かせ、家庭科の指導補助などの活動に加えて、小学校では運動能力テストの実施補助、クラブの指導など、中学校では補充学習指導、漢字検定の実施補助、高校入試に向けた面接練習等の新たな取組が始まった。学校ボランティアの参加により、子供が専門的な指導を受けられたり、学校の業務改善が図られたりと、授業の質的向上や安心安全な学校づくりに成果が見られている。また、学校ボランティアからは、「地域の学校や子供のために協力したい」「子供から元気をもらえてありがたい」などの声が聞かれ、学校の依頼を受けて取り組む支援から、保護者、地域、学校がそれぞれの立場で主体的に取り組む協働へと意識が高まってきた。

●その他

学校ボランティアのつどい: 約80名が参加し、学校ボランティアの心構えや具体的な活動について情報交換を行った。
学校ボランティアによる教科指導補助: 年間を通じて、授業の指導補助等に学校ボランティアが参加している。



学校ボランティア協議会の様子



学校教科指導補助の様子